

# 指導員研修一覧



## 研修の内

### JGAP指導員基礎研修

資格取得に  
必須

JGAPの基礎の学習から、ケーススタディーを用いた実習まで行います。現場での指導に役立つ実務者向けの研修であり、GAP初心者にも最適な内容です。『JGAP指導員』の資格を取得できます。

## 研修の内容

### JGAP新旧差分研修

資格更新にも  
利用可能

新旧の総合規則や管理点、適合基準の違いを学びます。最新の版でどのように取り組んだらよいか理解できます。

## 研修の内容

### インターネット研修

資格更新に

指導員の資格更新に最適な研修となります。指導員基礎研修の内容を復習することができ、指導のための知識と技術の向上に活用できます。有効期限が切れる半年前から受講可能です。資格更新期間であれば合格するまで受講することができます。

インターネットを使用できる  
環境があれば、どこでも  
受講することができます

## 研修の内容

### 団体認証研修

資格更新にも  
利用可能

団体でASIAGAP/JGAPに取り組む方法を学びます。研修を通して、団体認証の基礎と団体マネジメントのノウハウを学びます。団体の内部監査員に必要な研修です。

## 研修の内容

### 特別研修 (現地研修/リスク評価研修/IPMとGAP研修)

資格更新にも  
利用可能

- 現地研修は、認証農場を訪問し、農場の現場で行う研修です。実例を通して導入方法や取り組み方(農場管理の手順)、活用方法について学ぶことができます。
- リスク評価研修は、リスク管理の仕組みを理解し、リスク評価をより理解したい方向けの研修です。
- IPMとGAP研修は、GAP指導の中でIPMについて指導するための基礎や、IPM導入の成功事例・基本的枠組みと応用方法について学ぶことができます。

指導員資格を取得していなくても受講は可能です。  
JGAP指導員(畜産)の方も受講はできますが、資格の更新はできません。

## 研修の内容

### ASIAGAP 基礎差分研修

JGAP指導員がASIAGAP指導員の資格を得る為の差分研修です。

- ※指導員資格の更新にも利用可能です。
- ※畜産の指導員は対象外となります。

指導のための知識と技術の向上のため、指導員資格には2年間の有効期限が設けられています。

ASIAGAP/JGAP 指導員になるためには、用途に合わせて様々な研修があります。また、資格更新のための研修もありますので、一覧をご確認ください。

## 研修受講・資格取得・更新一覧

研修の種類	指導員		*① 指導員補 (指導員有効期限後2年間)		一般の方 (指導員資格なし)	
	研修受講	資格更新	研修受講	指導員資格 取得	研修受講	指導員資格 取得
JGAP指導員基礎研修	○	○	○	○	○	○
ASIAGAP 基礎差分研修	○	○	○	○	○	×
JGAP 新旧差分研修	○	○	○	○	○	×
インターネット研修	○	○	*② △	○	×	×
*③ 団体認証研修	○	○	○	○	○	×
*④ 特別研修	○	○	○	○	○	×

- \*①・指導員補は指導員の有効期限が切れてから2年間、指導員補としてデータが記録されます。指導員補の期間に研修を受講されると指導員に復帰できます。2年が過ぎると記録は削除され、指導員資格復帰には基礎研修の受講が必要となります。  
・JGAP指導員補の方がASIAGAP差分研修を受講終了すると、ASIAGAP指導員として登録されます。
- \*②△ 指導員補の方がインターネット研修を受ける場合  
研修業務委託先のGAP総合研究所へご連絡ください。(指導員専用サイトログインの手続きが必要です)  
連絡先: GAP総合研究所 研修担当 TEL029-893-4424
- \*③、\*④およびASIAGAP基礎差分研修、JGAP新旧差分研修は指導員資格がなくても受講は可能ですが、指導員の資格は取得できません。  
日本GAP協会では、まず始めにJGAP指導員基礎研修を受講されることをお勧めします。